

裏飼施設新築工事の進捗状況

完成しました！



◇「裏飼施設（うらがいしせつ）」とは？

展示前の動物の検疫等や獣舎の工事期間中に一時的な飼育場所として使用する施設です。
(非展示施設のため、ご覧いただくことはできません。)

令和6年10月

◇完成 無事、工事が完了しました。



建築前 R6.1



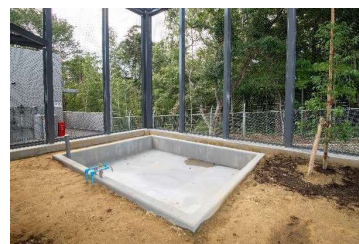
完成 R6.10



裏飼施設 屋外放飼場

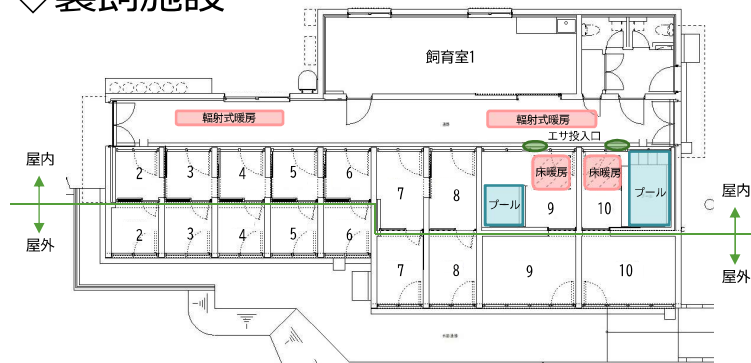


乾草・資材庫 大型猛禽檻

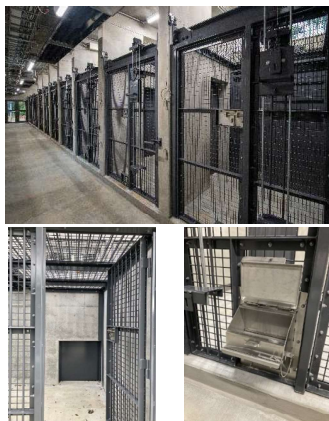


大型猛禽檻内プール

◇裏飼施設



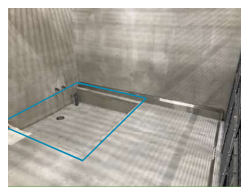
【飼育室1】
は虫類館から引っ越してくる
ヘビやカメを飼育する部屋。
水槽用ヒーター等に使用する
するため、壁面にたくさんの
コンセントを設置しています。



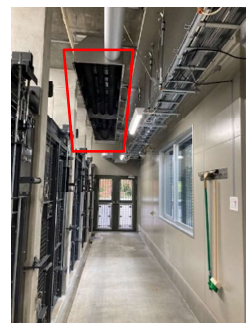
【飼育室2～10】
飼育予定の動物に合わせ、
大きさの異なる飼育室を
複数設置しています。

屋外放飼場への扉や飼育
室間の扉（シュート）は
通路から開閉操作を行
います。

飼育室9と10は猛獣仕様
としており、屋外放飼場
の壁や屋根には、縦格子
を追加しています。
また、飼育室に入らずに
えさをあげられる装置を
取付けています。



【室内プール】
飼育室9と10には、
室内プールと床暖房
を備えています。
プールは水だけでは
なく、お湯も張れる
ので、寒い時期でも
プールに入れます。



【輻射式暖房】
通路天井に輻射式
の暖房設備があり、建
物内全体を暖めます。

令和6年8月

◇設備取付、外部仕上

工事も終盤に差し掛かってきました。

裏飼施設では、設備配管や器具の取付けを
行っています。通路天井には、照明や換気口、
暖房等の器具と配管が設置されるため、それぞれの
位置を調整しながら作業を進めています。

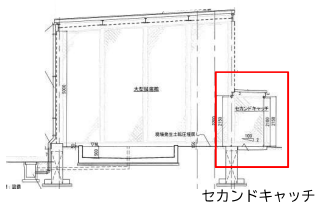


裏飼施設・外観



裏飼施設・内部

おおがたもうきんおり
乾草・資材庫に併設している大型猛禽檻に金網が
取り付けられました。この後、入口のセカンドキャッチや、
檻の中の樹木を設置していきます。



※セカンドキャッチ
動物の逸走（脱走）を防止するために
設ける二重扉等のことをいいます。

大型猛禽檻の
セカンドキャッチ

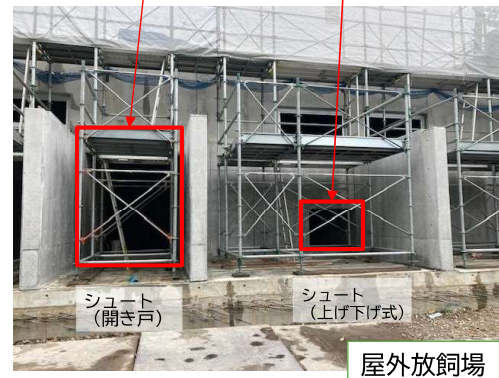
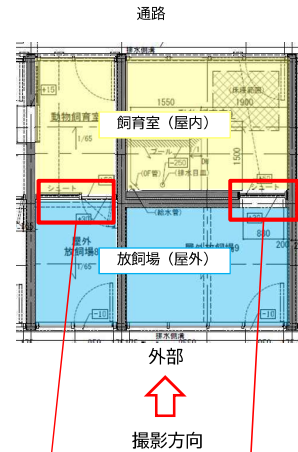
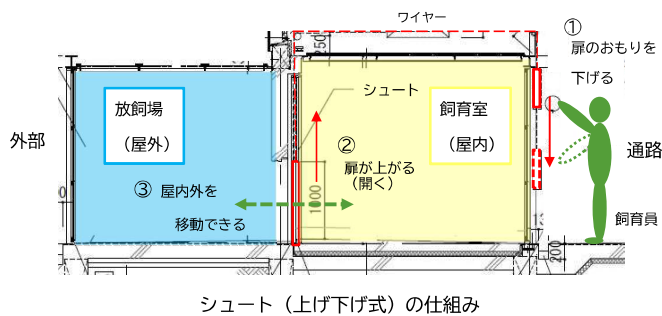


大型猛禽檻

令和6年7月

◇シュート

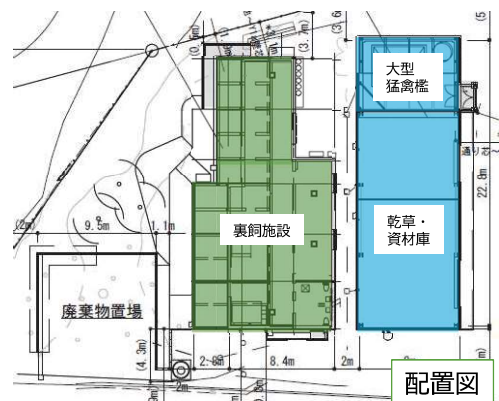
動物が移動するときに使う通路や扉のことを「シュート」といいます。シュート（扉）は、扉から離れた場所で開閉操作できる仕組みになっています。裏飼施設では、それぞれの飼育室に動物が屋内外を移動するためのシュート（扉）があり、飼育する動物に合わせ、開き戸と上げ下げ式の2種類を使い分けて設置しています。



令和6年6月

◇乾草・資材庫

「裏飼施設」の隣に、「乾草・資材庫」を建築しています。この施設は、動物の飼料となる乾草等や飼育で使用する物品等を保管するための建物です。大型猛禽檻 (おおかたもうきんおり) を併設しており、鳥類の裏飼に対応可能な施設となります。



◇鉄骨建方

乾草・資材庫は鉄骨造の建物となります。
(※裏飼施設は鉄筋コンクリート造)
クレーンを使用して、柱や梁となる鉄骨を設置しました。
この後、床や壁を仕上げていきます。



令和6年5月

◇ 1階床

1階床部分のコンクリートを打設しました。
床の仕上げは、打設時に材料を散布する工法で行っています。コンクリートと仕上材が一体化することにより、床仕上げのはがれを防止するほか、床の強度が増すことで床のすり減りを防ぐことができます。



◇ 型枠（壁）

壁部分の型枠を建てはじめました。
この後に鉄筋を組み立て、壁の中に埋め込む電気や給排水の配管などを行います。

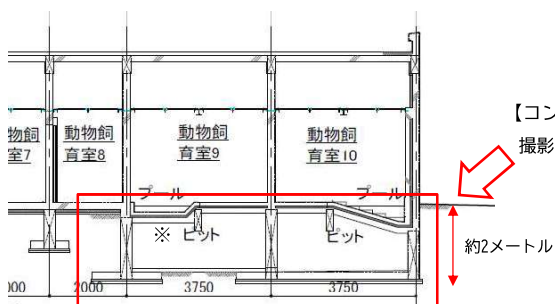
裏飼施設の水栓やコンセントは、床から1 m位の高さに設置します。
獣舎内は水洗いで清掃するため、水がかからないように高い位置にしています。



令和6年4月

◇ コンクリート打設

基礎部分のコンクリートを打設しました。
地下にピットを設けるため、深さのある基礎になります。
コンクリートが型枠内にすき間なく行き渡るよう、確認しながら作業を進めています。



※ピット
給排水設備などの配管やメンテナンスを行うためのスペース



令和6年3月

◇掘削・コンクリート打設

重機を使って建物の範囲を掘削し、「捨てコンクリート※」を打設しました。

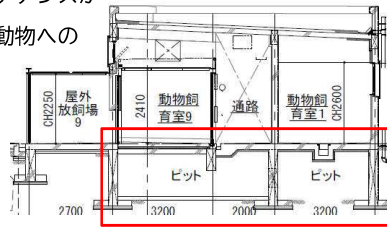
※捨てコンクリート

土を掘り終えて地盤を固めた後に打つコンクリートです。
建物の高さの基準や、型枠や配筋の下地になります。



ポイント

「裏飼施設」は平屋の建物ですが、地下部分にピットを設けるため、約2メートル地面を掘削しています。地下ピットに給排水設備などを設けることで設備のメンテナンスが容易になり、飼育している動物への負担を軽減するとともに、建物を長く使うことへ配慮しています。



令和6年2月

◇建設場所 (写真①)

は虫類館の西側に建設します。



◇仮囲い設置完了 (写真②)

周囲の安全確保のため、工事現場の周りに仮囲いを設置しました。

これから本格的に工事がスタートします。

